

パオちゃん's EYE

2018年10月1日 発行 No.19

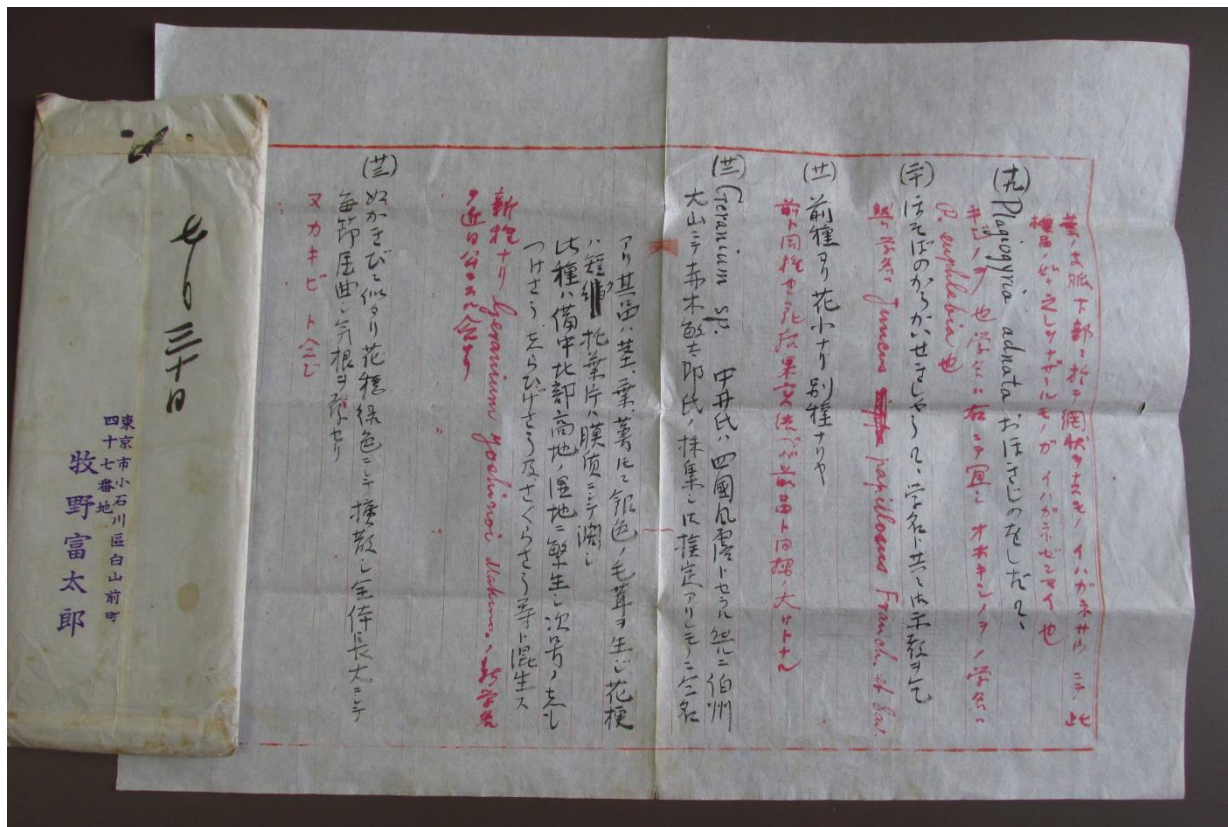
牧野富太郎博士の手紙

牧野富太郎博士は高知県生まれの植物学者で、「日本の植物学の父」とも称せられるとおり、50万点にのぼる標本を作製し、『牧野日本植物図鑑』をはじめとする数々の著作物を著されています。自身が命名された新種は2,500種以上といわれ、超人的な業績を残されています。

倉敷市立自然史博物館には、その牧野博士から『備中植物誌』（1929年発行）の著者である吉野善介氏にあてた手紙が7通保管されています。多くは、巻紙に筆で書かれた手紙と同等結果を記した別紙からなっています。ビッチュウフウロとナガバヤクシソウについては新種記載の経緯がわかる一節もあります（写真＝ビッチュウフウロ）。

これらの手紙は博物館まつりやお宝探検ツアーなどのイベントのときにご覧いただけます。お気軽にご参加ください。

狩山俊悟(植物担当)



パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには

いろんな情報がいっぱい!

「倉敷市立自然史博物館」で

検索してみよう! パオより

